

## 令和4年度 東区地域福祉推進フォーラム 開催報告

日時 令和4年5月17日（火）13：30～16：00

会場 東区プラザ ホール

参加者 133名

主催 新潟市東区社会福祉協議会

共催 新潟市東区健康福祉課

（開会挨拶）

東区社会福祉協議会 会長 新保 正樹

新潟市東区長 石井 哲也



講演会の様子



全体の様子



意見交換の様子

## 1 講演会「遺品整理の現場から考える地域の見守り」

一般社団法人アンド・アイの廣川 隆一代表をお招きし、実際の遺品整理現場の写真を提示しながら、これまでの現場経験から見えてきた地域での見守りの必要性についてご講演いただきました。年齢に関係なく、一人暮らしの方や地域・社会から孤立している方は特に気にかける必要があり、周りが気かけられるような協力体制を構築することが大切であるとのお話がありました。また、自ら「助けて」と声を挙げられるような環境づくりや、日頃から近隣に自分自身の情報を開示することが重要であるとのメッセージが伝えられました。

## 2 地域の見守り事例発表

### ①中野山小学校区コミュニティ協議会

山田 喜孝会長より、「中野山地区の見守り活動」について発表していただきました。各種高齢者情報を突合して訪問調査を実施し、地域の中で高齢者世帯の情報共有ができるような仕組みについて紹介されました。これまでの活動から、「情報のメンテナンス」の必要性や、日常的に近隣住民の変化に気づける関係性を構築できる地域社会をつくらなければいけないとの熱い思いが伝えられました。

### ②東区健康福祉課

歌川 あい主査より、東区の特色ある区づくり事業である「見守り訪問事業」について発表がありました。高齢者の社会的孤立を防ぐことを目的として、民生委員による一次訪問で世帯の把握を行い、必要と判断したケースには地域包括支援センターや行政が二次訪問を行い、必要なサービスへ繋げる流れについて説明がありました。これまでの事業を振り返り、課題として訪問を拒否する方への関わり方が挙げられました。

### ③東明第一自治会

木島 重夫会長より、「地域ふれあい活動と安心安全パトロール東明隊」について発表していただきました。これまでに実施した行事が紹介され、あらゆる世代が繋がり、町内行事への理解と参加が得られるように、長年にわたり様々な事業を継続しているとの説明がされました。また、これまでの活動の発展として、災害時に備えた見守られる人・見守る人を事前に決めておく体制に加え、安心安全パトロール隊による重層的な見守り体制について紹介されました。

## 3 意見交換

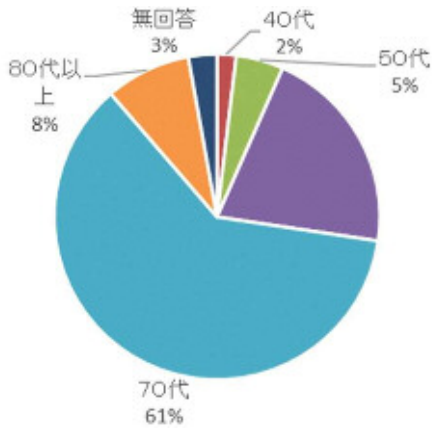
新潟医療福祉大学の青木 茂教授にコーディネートしていただき、講師の廣川さんを交え、事例発表者の皆さんと一緒に意見交換が行われました。発表者の皆さんからは、見守り活動を立ち上げる際に大変だったこととして、地域住民との関係性づくりや介入方法等が挙げられました。また、支える側の人の発掘方法として、地域のイベントで新たな人材を見つけ出すことや、若い世代が興味を持てるイベントへの参加をきっかけにするといった工夫が挙げられました。

青木教授より、見守り活動の究極の目的は「孤立予防」「孤立死防止」であり、孤立をその人の自己責任として片付けず、誰かに気に留めてもらえる仕組みを地域の中でつくる必要があるとまとめられました。最後に、本日学んだことをそれぞれの活動の参考にして取り組みを進めてほしいとのメッセージが伝えられました。

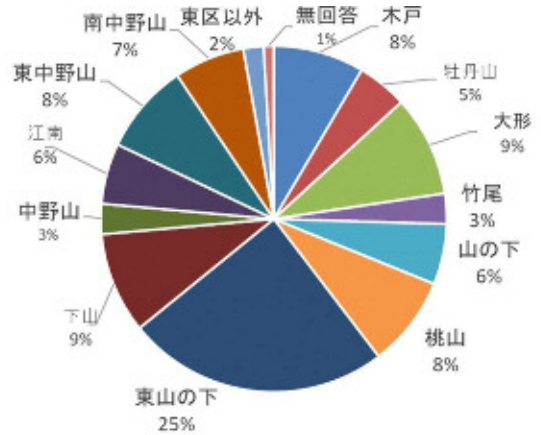
# 令和4年度 東区地域福祉推進フォーラム 参加者アンケート結果

参加人数 133名  
 アンケート回答者数 106名 (回収率 79.7%)

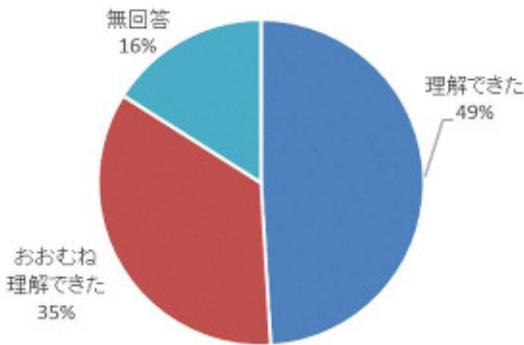
## 1 年代



## 2 居住地 (小学校区)



## 3 フォーラムの内容



## 4 感想、印象に残ったこと等

- ・ 具体的な写真、わかりやすい説明があり、印象に残りました。自分でできる見守り等を行っていきたいと思いました。
- ・ 講演の中に出ていた方は、50代・60代で民生委員の友愛訪問の対象にならない方々…年齢に関係なく周りで見守りが必要だなと思いました。
- ・ 認知症での死後の片づけの方法の大変さが具体的に理解できる。全く身寄りのない方にとっては地域の助け合いが必要。
- ・ 自分自身どうなるかわかりませんので、できるだけ地域とつながり、家族とも連絡をとりあって行きたいと思います。
- ・ 情報のメンテナンスと言っていましたが実際に必要と感じます。災害時要援護者は、常に情報を開示しておく事が大事。実のある情報をいただきました。
- ・ 地域の中での支え合いのしくみづくりについて、事例が参考になった。地域特性もあるが、まずは小さな取組からでも、やる事が大切だと思った。
- ・ 個人情報厳守から、情報公開の発想は新鮮だった。
- ・ 中野山コミ協、東明第一自治会の発表を聞いてとても参考になりました。今日の事を参考にして、コミ協・自治会活動に反映したいと思います。
- ・ 若年層の参加が不足しているのは自分自身でもよく感じています。もっと自分の町内に興味を持ちたいと思います。自分の子供が手を離れたらぜひ民生委員や他の何か役立てることに少しでも努めたいと思います。
- ・ 知りたいが知る機会がないとの発言はもっとも。最後に青木先生がおっしゃった自分達もできるんだと思ってくださいとの言葉で救われました。